

2021年7月21日

ハワイ州観光局

【ニュースリリース】

**ハワイ州観光局、伝統航海カヌー「ホクレア」情報サイトを開設  
～ 2022年から始まる環太平洋航海プロジェクト2022-2026を応援 ～**



ハワイ州観光局（所在地：東京都千代田区 日本支局長：ミツエ・ヴァーレイ）は、レスポンシブルツーリズムの考え方を実践するためのキャンペーン「マラマハワイ～地球にやさしい旅を～」の一環として、ポリネシアの伝統航海カヌー「ホクレア」情報サイト（<https://www.allhawaii.jp/hokulea>）を、日本の祝日「海の日」の2021年7月22日（木）午後12時に開設します。

「ホクレア」情報サイトでは、ホクレアと姉妹船「ヒキアナリア」が2022年から2026年までの期間、日本を含む46カ国345地域に寄港する環太平洋を航海する「環太平洋航海2022-2026」プロジェクトに向けた取り組みや最新情報を随時公開していくほか、カヌーの構造、近代計器を一切使わず、星、月、太陽、波、風、鳥といった自然の指標だけを頼りに帆走する伝統航海術（スターナビゲーション）、伝統航海から学ぶことや、「マラマホヌア世界航海2014-2017」のドキュメンタリー映画や航海記などを紹介します。

伝統航海カヌーを所有する「ポリネシア航海協会」は、1973年にハワイ州ホノルル市に創設された非営利団体で、「マラマホヌア（Mālama Honua：地球への思いやりを）」というメッセージを掲げ、自然の力だけを使って世界中を航海し続け、環境保全や文化伝承の大切さを伝える活動を行なっています。

ホクレアとはハワイ語で「喜びの星」（ホク＝星、レア＝喜び）を意味します。ホクレアは、1975年に釘を1本も使わずに復元された双胴船で、何百年も途絶えていたポリネシアの伝統航海術を蘇らせたことから、自然と調和して生きてきた祖先の知恵や技術、文化や伝統を蘇らせ、民族としての勇気と誇りを取り戻すことに繋がりました。ホクレアは、ハワイアン伝統文化復興運動のシンボルでもあり、

海洋汚染や気候変動など数々の地球環境の危機に直面している現代人間社会に対して「自然と調和して生きる人間観」を問うものでもあり、ハワイ州の州宝に指定されています。

ハワイ州観光局日本支局長 ミツエ・ヴァーレイは、「2022年は日本各地でのドキュメンタリー映画「マラモヌア世界航海 2014-2017」の上映、および教育セミナーを開催していく予定です。ホクレアを通して海、そして環境を守ることの大切さを啓蒙し、“学ぶ宝庫ハワイ”を提唱、ハワイ姉妹都市を中心とした文化交流や環境教育プロジェクトを広めていきたいと思っています。」と述べています。

###

#### ポリネシア航海協会 (Polynesian Voyaging Society)

ポリネシア航海協会は1973年に米国ハワイ州で発足された米国政府認定の非営利団体。何世紀もの間途絶えていたポリネシアの伝統航海術を復元し、「マラモヌア=地球への思いやりを」のメッセージを掲げ、世界中を航海しながら環境保全や文化伝承の大切さを伝える活動を行なっています。ポリネシア航海協会は、伝統航海術の芸術と科学、探求心を継承し、体験型の教育プログラムを通して、自然、文化に敬意をはらい、互いにいたわり合う大切さを次世代に伝えることを使命としています。伝統航海カヌーの修繕作業や教育プログラムの実施などは、ボランティアと寄付金によって支えられています。公式サイト（英語）：<http://www.hokulea.com/>

#### ハワイ州観光局日本支局 (Hawai'i Tourism Japan)

ハワイ州観光局日本支局は、ハワイ州の観光振興機関「ハワイ・ツーリズム・オーソリティ」から委託を請け、ホノルルと東京にオフィスを設置し、ハワイ州最大の国際マーケットである日本市場を対象に、ハワイのブランド価値を高めるためのマーケティング戦略を立案し、デスティネーション・キャンペーン、広報コミュニケーション、市場分析、パートナーシップ開発、教育プログラム構築など、日本の消費者、メディア業界、旅行業界、MICE市場など広範囲にわたって信頼と共感を呼ぶ活動を一貫して実施しています。また、持続可能な観光を目指すために「マラモヌア=思いやる心」の概念を啓蒙し、ハワイの自然保全と文化継承に繋がるプログラムの開発を促進して旅行体験の多様化を目指します。ハワイ州の産学官民と協力してハワイの地域社会と日本人旅行者を繋ぐ架け橋となり、日本とハワイの交流を深める活動も支援しています。公式ポータルサイト：<https://www.allhawaii.jp>

本件に関する報道関係者からの問い合わせ先

ハワイ州観光局 広報チーム [prhtj@htjapan.jp](mailto:prhtj@htjapan.jp)